

1、「学校は楽しいですか？」

- ・ 1学期は、全体の94%の児童が、(学校はいつも楽しい)(学校はだいたい楽しい)と回答していたが、2学期は、それを上回り全体の98%の児童が、(学校はいつも楽しい)(学校はだいたい楽しい)と回答している。2学期は、運動会や文化発表会などの大きな行事があったが、その取り組みを通して、児童は、友達と一緒に楽しく過ごせる時間がたくさんあったようです。やはり、児童が(学校はいつも楽しい)(学校はだいたい楽しい)とを感じるためには、友達関係が大きな要因になっていると思います。次に、今年度は、南アルプス市教育委員会指定「学びの質を高める授業づくり推進事業」公開研究発表会を11月22日に行いました。研究テーマは、「いきいきと学びあう授業づくり～学級集団の状態にマッチした指導の工夫を通して～」でした。そして、授業の中でも、関わり合いを大切にしてきました。その成果も結果に表れていると思いました。最後に、今年度もQUアンケートを2回実施して、児童の実態把握に、QUアンケートを効果的に利用することもできました。

2、「学校に行きたくないと思うことがありますか？」

- ・ 1学期は、全体の5%の児童が、(よくある)と回答していたが、2学期は全体の4%の児童が(よくある)と回答している。
- ・ 学校にいきたくないと回答した児童の理由は、(疲れている)(だるい)などの体の変調を訴えている児童がいます。これからも、(早寝・早起き・朝ごはん)に取り組んで、心と体の発達に注意していく必要があります。

3、「学校の勉強がわかりますか？」

- ・ 1学期は、全体の93%の児童が(よくわかる)(だいたいわかる)と回答していたが、2学期は、それと同様に、全体の92%の児童が(よくわかる)(だいたいわかる)と回答しています。90パーセント以上を保つことは、とても難しいことですが、これからもきちんと努力していきたいです。また、朝読書がきちんと定着しているので、本を読む習慣もしっかり身につけています。

4、「困ったときに相談できる人がいますか？」

- ・ 1学期は、全体の91%の児童が(いる)と回答していたが、2学期も、同様に、全体の92%の児童が(いる)と回答しています。やはり、低学年生は家族の割合が高く、高学年生になると、友達の割合が高くなってきます。教師の声掛けによって、心を開く児童もいますので、学校全体で、声掛け運動を進めていく必要も感じます。

5、「そうじが、しっかりできましたか？」

- ・ 2学期は、全体の93%の児童が(よくできた)(できた)と回答しましたが、(あまりできなかった)(できなかった)と回答した児童は、わずか7%でした。これからも、そうじの意味、そして大切さをきちんと指導する必要があります。

6、「進んであいさつができましたか？」

- ・ よくできたと回答した児童が50%・できたと回答した児童が37%で、合計87%の児童がよくできた・できたと回答しています。児童会本部を中心としたあいさつ運動をこれからも続けていきたいと思っています。